

こどもがしるべき

テモテへの

テモテへのは、エペソでをしていたテモテにあてて、パウロがいた２のです。

ローマのでののに、パウロがテモテにのようにのこしたのです。

としてテモテに、、にとのをして、をまでたすようにと、のモデルをえました。

パウロは、テモテへのをして

１つ、テモテがわらないをったことをにしながら、をましました。

２つ、のをかす、する、のようなきであるのをらせました。

３つ、のとのがあっても、み、にえるようにおいしました。

４つ、としてをえなければならないをたすとき、とキリストのにつことと、しいであるがけてくださるのをちみなさいといました。

10は、ただイエス・キリストのでまわりのをいやししながらにえましょう。また、パウロとテモテのように、そののサミットとしてつなきにしましょう。のをして、としてきていけばいのです。そのときにるやは、パウロとテモテのように、ただイエス・キリスト、の、のたしで、すべてのをえるなチャンスにしましょう。は、そのようなレムナントをに、のをかされるでしょう。